

令和5年度 水道事業会計当初予算（概要）

1	業務予定量（給水戸数，配水量，給水量 等）	1 P
2	予算の概要	2 P
3-1	予算の内訳（収益的収支）	3 P
3-2	予算の内訳（資本的収支）	4 P
4-1	主な実施事業（安全）	5 P
4-2	主な実施事業（強靱・浄配水施設）	6 P
4-3	主な実施事業（強靱・管路施設）	7 P
4-4	主な実施事業（持続）	8 P

1 業務の予定量

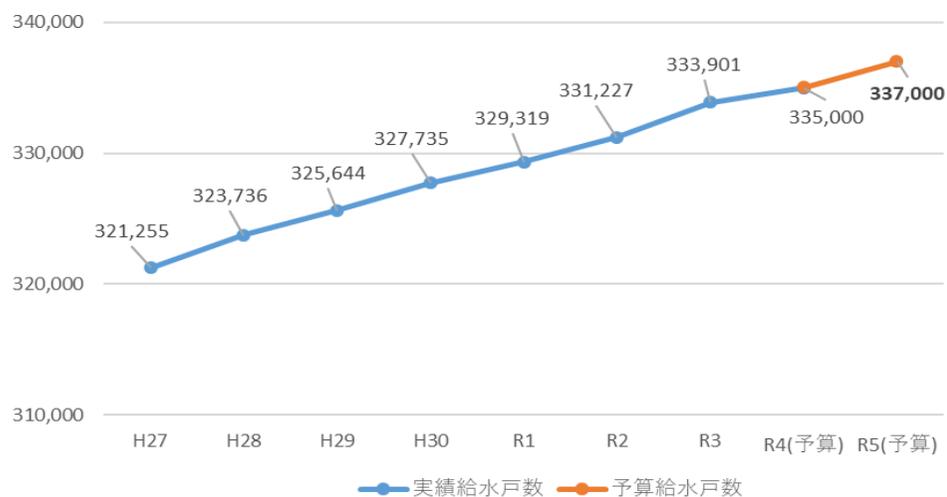
区分	令和5年度	令和4年度	前年度比	
	A	B	A-B	A/B (%)
給水戸数	337,000戸	335,000戸	2,000戸	0.6%
年間配水量	95,424,000m ³	96,662,000m ³	▲1,238,000m ³	▲1.3%
年間給水量	90,367,000m ³	91,539,000m ³	▲1,172,000m ³	▲1.3%
有収率	94.7%	94.7%	0	0P

給水戸数は前年度比で2,000戸増の337,000戸を予定しています。

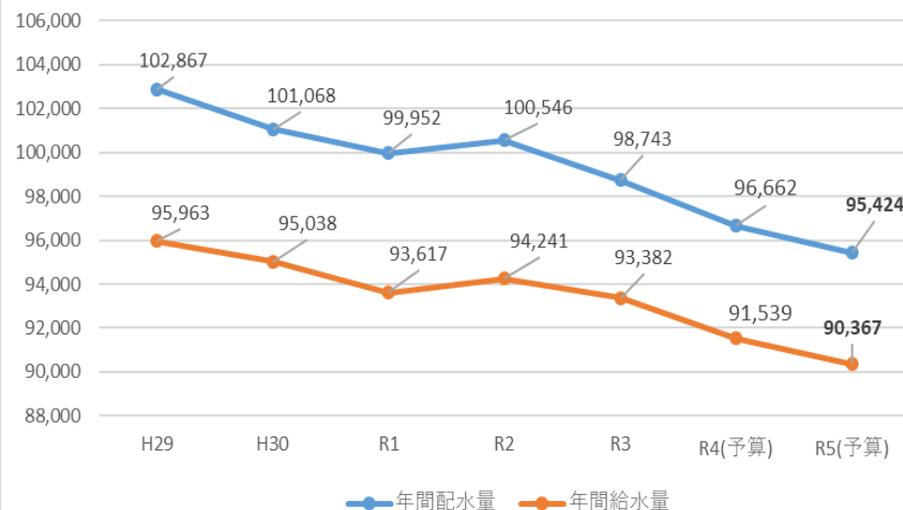
本市の給水人口は減少傾向にありますが、世帯の細分化が進み、給水戸数はわずかながら増加しています。

配水量・給水量については、新型コロナウイルスの影響により一時的に増加はしましたが、節水器具の普及や人口減少などの影響を受け、引き続き減少傾向にあります。

給水戸数の推移



配水量・給水量の推移



2 予算の概要

(1) 総事業費

(単位:千円)

令和5年度 A	令和4年度 B	前年度比	
		A-B	A/B (%)
31,630,554	29,384,503	2,246,051	107.6

(2) 収益的収入及び支出

(単位:千円)

	令和5年度 A	令和4年度 B	前年度比	
			A-B	A/B (%)
事業収益	17,149,948	17,045,191	104,757	100.6
事業費	16,318,692	15,772,122	546,570	103.5
差引	831,256	1,273,069	▲ 441,813	65.3
純損益 (税抜)	(▲144,116)	(446,721)	(▲590,837)	-

(3) 資本的収入及び支出

(単位:千円)

	令和5年度 A	令和4年度 B	前年度比	
			A-B	A/B (%)
資本的収入	6,743,098	5,651,785	1,091,313	119.3
資本的支出	15,311,862	13,612,381	1,699,481	112.5
差引	▲ 8,568,764	▲ 7,960,596	▲ 608,168	107.6

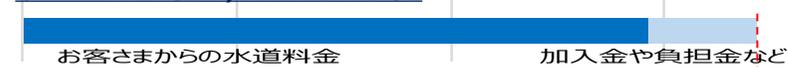
資本的収支不足額 8,568,764千円は、

- ①当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 962,422千円
- ②当年度損益勘定留保資金 5,479,831千円
- ③建設改良積立金 2,126,511千円で補てんする

税込

水道水をつくるための予算(収益的収支)

収入 171億4,994万8千円



支出 163億1,869万2千円



水道施設をつくるための予算(資本的収支)

収入 67億4,309万8千円



支出 153億1,186万2千円



※収支不足額 85億6,876万円は、利益や減価償却費など内部で留保された資金で補てんします。

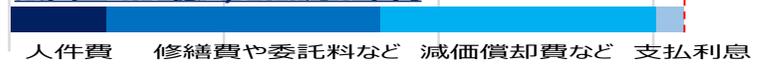
税抜

水道水をつくるための予算(収益的収支)

収入 155億7,338万7千円



支出 157億1,750万3千円



水道施設をつくるための予算(資本的収支)

収入 67億4,309万8千円



支出 143億493万7千円



※収支不足額75億6,184万円は、利益や減価償却費など内部で留保された資金で補てんします。

3 - 1 予算の内訳 (収益的収支)

○収入内訳

(単位：千円)

款	項	目	令和5年度 A	令和4年度 B	増減 A-B	前年度比 A/B(%)
事業収益			17,149,948	17,045,191	104,757	100.6
	1 営業収益		15,411,949	15,455,735	▲ 43,786	99.7
		給水収益	14,615,212	14,660,130	▲ 44,918	99.7
		他会計負担金	106,306	109,891	▲ 3,585	96.7
		その他営業収益	690,431	685,714	4,717	100.7
	2 営業外収益		1,590,691	1,412,132	178,559	112.6
		受取利息及び配当金	84	84	0	100.0
		加入金	200,789	211,150	▲ 10,361	95.1
		負担金交付金	35,011	44,863	▲ 9,852	78.0
		長期前受金戻入	1,112,287	1,094,522	17,765	101.6
		雑収益	75,801	61,513	14,288	123.2
		消費税及び地方消費税還付金	166,719	—	166,719	皆増
	3 特別利益		147,308	177,324	▲ 30,016	83.1
		固定資産売却益	1	1	—	100.0
		過年度損益修正益	1	1	—	100.0
		その他特別利益	—	21,802	▲21,802	皆減
		浄水汚泥等対策賠償金	147,306	155,520	▲ 8,214	94.7

○支出内訳

(単位：千円)

款	項	目	令和5年度 A	令和4年度 B	増減 A-B	前年度比 A/B(%)
事業費			16,318,692	15,772,122	546,570	103.5
	1 営業費用		15,530,766	14,908,738	622,028	104.2
		職員給与費	2,283,518	2,326,136	▲ 42,618	98.2
		委託料	2,477,825	2,399,022	78,803	103.3
		修繕費	1,518,947	1,731,487	▲ 212,540	87.7
		動力費	1,042,942	641,956	400,986	162.5
		薬品費	327,694	233,023	94,671	140.6
		受水費	471,854	471,483	371	100.1
		減価償却費等	6,430,694	6,374,974	55,720	100.9
		その他営業費用	977,292	730,657	246,635	133.8
	2 営業外費用		620,638	617,012	3,626	100.6
		支払利息及び企業債取扱諸費	615,181	575,320	39,861	106.9
		雑支出	5,457	4,429	1,028	123.2
		消費税及び地方消費税	—	37,263	▲37,263	皆減
	3 特別損失		162,288	241,372	▲ 79,084	67.2
		固定資産売却損	1	1	—	100.0
		過年度損益修正損	7,856	7,590	266	103.5
		浄水汚泥等対策費	154,431	233,781	▲ 79,350	66.1
	4 予備費	予備費	5,000	5,000	—	100.0

給水量の減少による減

消火栓維持管理負担金の減

加入見込件数の減少による減

不用品売却収益の増 (廃棄メータ外枠の売却収益)

課税支出が課税収入を上回ることによる消費税還付

令和4年度実施の指定解除汚泥 (満願寺浄水場保管汚泥) の処分費用に係る補助金収入の減

汚泥処分量の減及び随意契約方式から入札方式への変更に伴う処分費用の減

検満メータ取替個数の増などによる増

庁舎関連修繕費の減

電力料及びガス使用料の単価高騰による増

浄水用薬品の購入単価高騰による増

取水施設撤去事業 (R4~R7) の本格化に伴う撤去費の増

課税支出が課税収入を上回ることによる減

阿賀野川水系の汚泥処分を一般競争入札に切り替えたことによる減

3 - 2 予算の内訳 (資本的収支)

○収入内訳

(単位:千円)

款	項	目	令和5年度 A	令和4年度 B	増減 A-B	前年度比 A/B(%)
資本的収入			6,743,098	5,651,785	1,091,313	119.3
	1 企業債	企業債	5,688,000	4,669,000	1,019,000	121.8
	2 国庫補助金	国庫補助金	336,888	319,857	17,031	105.3
	3 出資金	出資金	441,000	331,000	110,000	133.2
	4 固定資産売却代金	固定資産売却代金	1	1	—	100.0
	5 消火栓設置負担金	消火栓設置負担金	68,959	72,177	▲ 3,218	95.5
	6 補償金	補償金	208,250	259,750	▲ 51,500	80.2

巻取水場施設整備事業に係る事業費の増

相互連絡管整備に係る事業費の増

他事業関連工事の減

○支出内訳

(単位:千円)

款	項	目	令和5年度 A	令和4年度 B	増減 A-B	前年度比 A/B(%)
資本的支出			15,311,862	13,612,381	1,699,481	112.5
	1 建設改良費		11,744,170	10,193,102	1,551,068	115.2
		原水施設費	6,347	32,109	▲ 25,762	19.8
		浄水施設費	504,610	756,815	▲ 252,205	66.7
		配水施設費	618,588	259,438	359,150	238.4
		基幹管路更新費	2,585,880	2,240,700	345,180	115.4
		基幹管路整備費	859,650	494,450	365,200	173.9
		配水支管更新費	3,466,210	3,502,950	▲ 36,740	99.0
		配水支管整備費	983,312	1,303,590	▲ 320,278	75.4
		青山浄水場施設整備費	1,782,000	1,321,100	460,900	134.9
		巻取水場施設整備費	566,500	12,100	554,400	4681.8
		営業設備費	371,073	269,850	101,223	137.5
	2 企業債償還金	企業債償還金	3,490,901	3,419,279	71,622	102.1
	3 国庫補助金返還金	国庫補助金返還金	76,791	—	76,791	皆増

概要は「4-1.2.3主な実施事業」で説明

国庫補助金に係る仕入税額相当分の返還金

4 - 1 主な実施事業 (安全)

○水質管理体制の充実・強化

87,127 千円

◆水質検査機器の適切な維持管理

- ・検査機器の点検整備等

◆検査機器の更新

- ・分析精度を確保するため、計画的に検査機器を更新



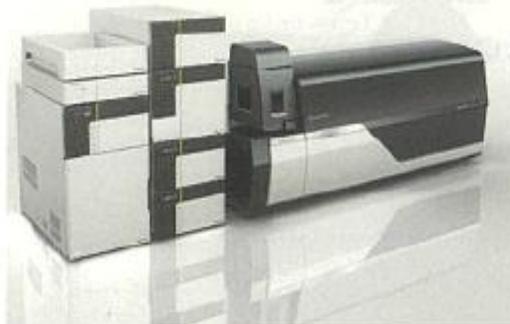
IC(臭素酸)…15,000千円



GCMS(フェノール)…25,000千円



更新費用400万円の削減



導入予定機器…36,000千円



光学顕微鏡

4 - 2 主な実施事業 (強靱・浄配水施設)

○浄配水施設の計画的更新及び災害対策

◆青山浄水場施設整備事業(令和3年度～令和6年度)

1,782,000千円(総額3,810,400千円)

- ・ 受変電設備更新工事
- ・ 電気計装設備更新工事
- ・ 薬品注入設備更新工事
- ・ 構内水管耐震化工事

他

●受変電設備、計装設備



旧ポンプ場にある受変電設備を機能停止とし、新ポンプ場に新設。
老朽化した各計装機器の更新。

◆巻取水場施設整備事業(令和4年度～令和6年度)

566,500千円(総額928,400千円)

- ・ 受変電設備更新工事
- ・ 自家発電設備更新工事
- ・ 活性炭注入設備更新工事
- ・ 沈砂池長寿命化工事

他

◆浄配水施設の更新及び整備

997,585千円

【満願寺浄水場】

- ・ 2系ろ過池5号・6号弁類更新工事

【竹尾配水場】

- ・ 場外監視カメラ更新工事

【秋葉配水場】

- ・ 電気計装設備更新工事
- ・ 配水池長寿命化工事

他

●活性炭注入設備



接触時間確保のため、新たに取水場に活性炭注入設備を設置



4 - 3 主な実施事業（強靱・管路施設）

○管路の計画的更新及び災害対策

◆基幹管路更新事業

2,585,880千円

- ・配水幹線の更新事業

φ200～700 布設延長4,173m

◆基幹管路整備事業

859,650千円

- ・事故・災害時の相互融通を目的とする大ブロック間の相互連絡管整備事業

φ500

- ・巻～戸頭間 300m
- ・信濃川～青山間 890m



◆配水支管更新事業

3,466,210千円

【老朽管更新】

- ・更新周期を超えた老朽配水支管を計画的に更新

φ50～200 布設延長9,418m

【重要施設向け配水管の耐震化】

- ・災害拠点となる行政機関や医療機関への配水支管を優先的に耐震化

医療機関：2施設施工

- ・白根大通病院 (R6年度完了予定)
- ・西蒲中央病院 (R5年度完了予定)

行政機関：2施設施工

- ・東区役所 (R6年度完了予定)
- ・中央区役所 (R6年度完了予定)

【鉛給水管更新】

- ・小口径管鉛給水管の更新

ガス競合路線は終了。局単独路線を継続

※効率的な更新箇所は減少傾向

4 - 4 主な実施事業（持続）

○経営基盤の強化

212,627千円

- ◆業務効率化に向けた民間委託の検討・実施
(デザインビルド方式の導入（試行）)
- ◆水道事業経営審議会の効果的運用
- ◆ICTを活用した業務効率化
(RPA(Robotic Process Automation)の導入)
(スマートメーターの導入検討)

○放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供

154,431千円

- ◆浄水汚泥（200Bq/kg以）の有効利用

○技術・知識を有する人材の確保と育成及び働きやすい職場環境作り

7,298千円

- ◆各種研修の実施

○戦略的な広報の実施とお客様ニーズの把握

40,232千円

- ◆水道広報（水道週間、広報紙等）
- ◆お客さまアンケートの実施
- ◆水道モニター制度の運用



質問	回答
<p>一般家庭、事業所別の数字はありますか (給水収益、給水数の推移など)</p>	<p>別紙1</p>
<p>「令和5年度 水道事業会計当初予算(概要)」の 2. 予算の概要 (2) 収益的収入及び支出 令和5年度の差引831,256千円と純損益▲144,116千円 のつながりがよく理解できないのですが、どのような関係 となっているのでしょうか。 また、この純損益は損益計算書の当年度純損益と同じもの のでしょうか。</p>	<p>公営企業の予算は消費税込の金額となるため、純損益を算出する際には消費税を考慮する必要があります。</p> <p>収益的収支において、収入は水道料金や加入金等の課税収入が大部分を占めるのに対し、支出は人件費や減価償却費等の不課税支出が大きな割合を占めます。このため、消費税の影響は、収入の減少幅が大きくなり、支出の減少幅が小さくなります。</p> <p>令和5年度当初予算では、収入に占める消費税額約15億7,700万円に対し、支出に占める消費税額は約6億100万円となり、税抜額において支出が収入を上回り、その結果、約1億4,400万円の純損失が発生することとなりました。</p> <p>なお、この純損失は損益計算書の当年度純損益と同義のものとなります。</p>

(参考) 用途別給水量及び給水収益年度比較

◆ 給水量

(単位：m³)

	合計	住宅用	構成比	その他	構成比
H 29	95,962,680	70,843,415	73.8%	25,119,265	26.2%
H 30	95,038,409	69,967,969	73.6%	25,070,440	26.4%
R 1	93,616,679	69,148,954	73.9%	24,467,725	26.1%
R 2	94,240,928	71,339,222	75.7%	22,901,706	24.3%
R 3	93,381,929	70,208,514	75.2%	23,173,415	24.8%
R 4	68,972,965	50,798,945	73.7%	18,174,020	26.3%

※R4年度は4月から12月まで

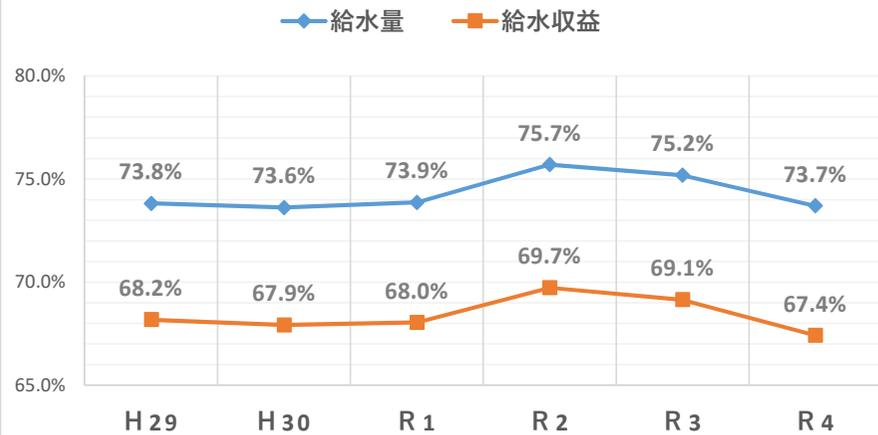
■ 給水収益

(単位：円，税込)

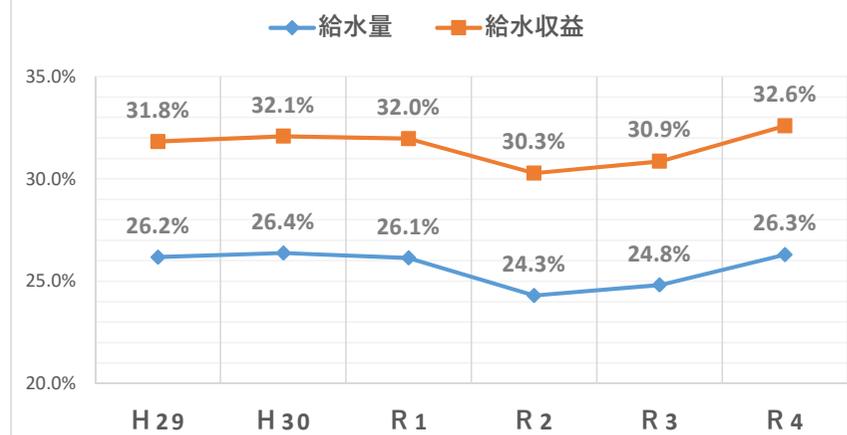
	合計	住宅用	構成比	その他	構成比
H 29	15,011,546,814	10,234,036,860	68.2%	4,777,509,954	31.8%
H 30	14,922,041,375	10,134,687,447	67.9%	4,787,353,928	32.1%
R 1	14,846,930,127	10,101,493,689	68.0%	4,745,436,438	32.0%
R 2	14,988,018,881	10,449,659,458	69.7%	4,538,359,423	30.3%
R 3	14,938,333,895	10,328,573,415	69.1%	4,609,760,480	30.9%
R 4	11,082,137,825	7,470,496,515	67.4%	3,611,641,310	32.6%

※R4年度は4月から12月まで

住宅用構成比



その他（事業用等）構成比



水道に関するアンケート（事業所様）

令和4年11月
新潟市水道局

ご協力のお願い

お客様の水道事業に対する意識や水道水の利用状況をお聞きして、今後の水道サービスを提供していく上での参考とするために、アンケートを実施します。

このアンケートは、新潟市内で水道を利用いただいている事業所の中から無作為に選んだ1,000事業所に協力をお願いしています。アンケート結果は、すべて統計的に処理した上で調査目的にのみ活用させていただきます。

なお、統計処理した結果につきましては、後日ホームページで公開する予定です。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、このアンケートにご理解、ご協力をお願いします。

記入後の調査票は、同封の返送用封筒（切手不要）で12月12日（月曜日）までに投函いただきますようお願いいたします。

【このアンケートについてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。】

新潟市水道局 総務部 総務課 広報・人材育成室

〒951-8560 新潟市中央区関屋下川原町1丁目3番地3

お客様専用フリーダイヤル 0120-411-002（※平日 8:30~17:15）

記入上のお願い

- アンケートの記入については、事業所の庶務のご担当者など、水道の使用状況をご存知の方がご記入いただきますようお願いいたします。
- 各質問の回答は、当てはまる番号に○をつけてください。
- 「その他」を選ばれたときは、（ ）の中に具体的な内容をご記入ください。
- アンケート中、水道局の取り組みについての「満足度」をお聞きする質問がありますが、下記の趣旨を踏まえてご回答くださるようお願いいたします。

「満足度」とは、水道局の取り組みについて、現状どのくらい満足感を持っているか。

最初に、統計的に処理するために、あなたの事業所の水道のことについてお聞きします。該当する項目に○をつけてください。

【事業所の所在地】

1 北区	2 東区
3 中央区	4 江南区
5 秋葉区	6 南区
7 西区	8 西蒲区

【事業所の業種】

1 建設業	2 製造業
3 情報通信業	4 運輸業
5 卸売・小売業	6 飲食店・宿泊業
7 医療・福祉	
8 サービス業（他に分類されないもの）	
9 その他（ ）	

【事業所の従業員数】

1 ~10人	2 11~50人
3 51~100人	4 101~300人
5 301人~	

【事業所の水道メーター口径】

1 25mm	2 30~40mm
3 50mm	4 75mm
5 100mm以上	6 わからない

【事業所の水道使用水量】

1 10m ³ 以下
2 11~20m ³
3 21~40m ³
4 41~60m ³
5 61~100m ³
6 101~200m ³
7 201~400m ³
8 401~2,000m ³
9 2,001m ³ 以上
10 わからない

※検針票の見本

事業所の検針票をご覧になり、該当する項目に○をつけてください。

4年6月 4年7月 月分水道使用量等のお知らせ

(ご使用期間 5月17日 ~ 7月14日)

中央区関屋下川原町1丁目3-3

水道 太郎 様

お客様番号 99999999 - 111

メーター: 40mm ABCD 123456789

今回検針 7/14 335 m³

前回検針 5/16 291 m³

使用水量 44 m³

下水道排除量 44 m³

前回水量: 42m³ 前年同月水量: 38m³

通信欄	
-----	--

*今回推定水量のお客さまについては、次回検針時にご使用量を再計算し、差額が生じた場合には次回お支払い額を調整、精算させていただきます。ご不明な点については下記までお問い合わせください。

地下水検針	連番1	連番2	連番3
今回指針			
前回指針			

今回の請求予定金額 (再掲消費税相当額)

水道料金	22,052円 (2,004円)
下水道使用料	6,787円 (617円)
合計額	28,839円

口座振替予定日・振替予定金額

前期分	8月2日 振替	14,420円
後期分	9月2日 振替	14,419円

次回の検針は9月14日の予定です。

4年4月 4年5月 月分口座振替済のお知らせ

下記の金額がご指定の口座から振替になりましたのでお知らせいたします。

前期分	6月2日 振替済	14,132円
後期分	7月4日 振替済	14,131円

◇水道料金等のお問い合わせ

水道局お客さまコールセンター 通話無料 0120-411-002
受付時間 AM8:00~PM9:00 年中無休
水道局代表番号もご利用できます。 Tel.025-266-9311

◇下水道使用料等のお問い合わせ Tel.025-281-9561

東部地域下水道事務所 業務係

新潟市水道局検針受託者 第一環境(株)
委託検針員 00999 ○○



注: このお知らせ票では、料金のお支払いはできません。

事業所における節水状況についてお聞きします

問1 あなたの事業所では、日ごろ節水を心がけていますか。(〇は1つだけ)

- 1 節水のことは考えずに使っている
- 2 節水は必要と思いつつも、実行はしていない
- 3 ある程度節水しながら使っている
- 4 まめに節水して使っている

(問1で「3 ある程度節水しながら使っている」または「4 まめに節水して使っている」と回答された事業所にお聞きします。)

[問1-1] 次のうち現在取り組んでいる節水対策はありますか。また、その時期はいつごろですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|--------------------------------|---|----|
| 1 節水型設備の導入 (業務用の機械など) | 年 | 月頃 |
| 2 節水型設備の導入 (節水型トイレなど、業務用以外のもの) | 年 | 月頃 |
| 3 水の循環利用 | 年 | 月頃 |
| 4 地下水・雨水の利用 | 年 | 月頃 |
| 5 使用量の管理 | 年 | 月頃 |
| 6 従業員への啓発 | 年 | 月頃 |
| 7 その他 () | 年 | 月頃 |

[問1-2] 節水するための水道使用量の目標値はありますか。(〇は1つだけ)

- 1 前年度に比べて5%程度の節水
- 2 前年度に比べて10%程度の節水
- 3 前年度に比べて15%程度の節水
- 4 前年度に比べて20%を超える節水
- 5 その他 ()
- 6 目標値はない

(問1-2で「1~5」と回答された事業所にお聞きします。)

[問1-3] 節水をしたことにより、節水目標はどのくらい達成できましたか。(〇は1つだけ)

- 1 ほぼ達成できた
- 2 半分くらい達成できた
- 3 あまり達成できなかった
- 4 わからない

問2 次のうち、今後取り組みたいと思っている節水対策はありますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--------------------------------|
| 1 節水型設備の導入 (業務用の機械など) |
| 2 節水型設備の導入 (節水型トイレなど、業務用以外のもの) |
| 3 水の循環利用 |
| 4 地下水・雨水の利用 |
| 5 使用量の管理 |
| 6 従業員への啓発 |
| 7 その他 () |
| 8 ない |

問3 水道水の他に利用している水はありますか。また、水道水およびそれぞれの水は、どのような用途にお使いですか。(〇はいくつでも)

利用用途 利用している 水の種類	A. 飲用	B. 飲用以外 の生活用水 (トイレ等)	C. 商品の製 造・加工、サ ービスの提 供などの業 務用	D. 空調等の 設備用	E. その他 ()
1 水道水					
2 雨水					
3 地下水(井戸水)					
4 工業用水					
5 その他 () ※循環利用等					

災害時における飲料水の確保についてお聞きします

問4 近年の大震災や水害を経て、あなたの事業所では水に対する考え方は変化しましたか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1 | 以前より水の備蓄をするようになった |
| 2 | 節水の意識が高まった |
| 3 | 水道水以外の水（ペットボトル水、井戸水など）を利用するようになった |
| 4 | 水道水の安全性に対して関心が高くなった |
| 5 | 水道の果たす役割に対して関心が高くなった |
| 6 | 水道施設の耐震性や、水道管の老朽化などの問題に関心が高くなった |
| 7 | その他（ <input type="checkbox"/> ） |
| 8 | 変わらない |

問5 災害に備え、1人1日あたり3リットル、3日分で9リットル程度を目安として、飲料水の備蓄をお願いしています。あなたの事業所では、どのくらいの量の飲料水を備蓄していますか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1 | ペットボトル（ <input type="checkbox"/> ミリリットル× <input type="checkbox"/> 本） |
| 2 | 水の缶詰（ <input type="checkbox"/> ミリリットル× <input type="checkbox"/> 本） |
| 3 | ポリタンク（ <input type="checkbox"/> リットル× <input type="checkbox"/> 個） |
| 4 | その他（ <input type="checkbox"/> で <input type="checkbox"/> リットル） |
| 5 | 備蓄していない |

水道局の広報・PRについてお聞きします

問6 水道局が行っている広報媒体の中で、あなたの事業所が利用しているものは次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|-----------------------|---------------|------------|
| 1 広報紙「水先案内」 | 2 市報にいがた | 3 ホームページ |
| 4 パンフレット | 5 新聞での広報 | 6 水道週間イベント |
| 7 新潟まつりや古町どんどんなどのイベント | 8 利用しているものはない | |

問7 水道局が広報活動を行っていく上で、今後力を入れてほしい媒体は次のうちどれですか。

(〇はいくつでも)

- | | | |
|------------------------------------|-------------|-----------|
| 1 広報紙「水先案内」 | 2 市報にいがた | 3 ホームページ |
| 4 携帯版ホームページ | 5 パンフレット | 6 新聞での広報 |
| 7 雑誌での広報 | 8 ラジオでの広報 | 9 テレビでの広報 |
| 10 検針票の裏面 | 11 水道週間イベント | 12 SNS |
| 13 新潟まつりや古町どんどんなどのイベント | | |
| 14 その他（ <input type="checkbox"/> ） | | |

問8 あなたの事業所が必要と考える水道局からの情報やお知らせは、次のうちどれですか。
(〇はいくつでも)

1 水道水の水質検査の結果	2 断水・漏水などの工事情報
3 災害対策の取組み	4 災害や断水等、緊急時の情報確認手段
5 水道料金や支払いに関する手続きの方法	
6 事業の経営状況	7 各種のイベント情報
8 水道水の節水方法や活用方法など	9 その他 ()

水道事業全般についてお聞きします

問9 新潟市の水道事業について、どのように思いますか。(〇は1つだけ)

1 満足	2 やや満足	3 どちらともいえない	4 やや不満	5 不満
------	--------	-------------	--------	------

(問9で「1 満足」または「2 やや満足」と回答された事業所にお聞きします。)

[問9-1]新潟市の水道事業について満足している点は、次のうちどれですか。

(〇はいくつでも)

1 水道水の安全性	2 水道水のおいしさ
3 災害時等の応急給水体制の整備	4 老朽化した水道管の更新・耐震化
5 浄水場などの水道施設の耐震化	6 断水のない安定した給水
7 お客さまコールセンターの導入などお客さまへの対応	
8 効率的な経営への取組み	9 水道料金の設定
10 道路漏水などへの緊急対応	11 わかりやすい広報への取組み
12 太陽光発電設備の導入など環境に配慮した事業運営	
13 その他 ()	

(問9で「4 やや不満」または「5 不満」と回答された事業所にお聞きします。)

[問9-2]新潟市の水道事業について不満な点は、次のうちどれですか。

(〇はいくつでも)

1 水道水の安全性	2 水道水のおいしさ
3 災害時等の応急給水体制の整備	4 老朽化した水道管の更新・耐震化
5 浄水場などの水道施設の耐震化	6 断水のない安定した給水
7 お客さまコールセンターの導入などお客さまへの対応	
8 効率的な経営への取組み	9 水道料金の設定
10 道路漏水などへの緊急対応	11 わかりやすい広報への取組み
12 太陽光発電設備の導入など環境に配慮した事業運営	
13 その他 ()	

問10 水道事業は、皆さまの水道料金により賄われていますが、近年の節水器具の普及や今後も進む人口減少により、事業運営の財源となる水道料金収入の減少に歯止めがかからない状況となっています。

一方で、昭和39年に発生した新潟地震の復旧に際し、集中的に更新した水道管や、浄水場施設などの老朽化が進み、今後も安定供給を継続するためには、多くの施設更新を進める必要があります。そのため財源確保が今後の課題となってきます。

このような状況から、現在の料金水準のまま事業を継続した場合、十分な施設更新が行えず将来的には施設の老朽化が進行し漏水や断水事故が頻発する可能性が考えられます。

水道局が行っている次のア～カの実施内容について、今後、水道料金との関係をどのようにすべきとお考えですか。（各列○は1つだけ）

	極的に推進してほしい	水道料金を値上げし、更に積	必要な財源確保のため水道料金を値上げし、現状の取組みを維持してほしい	取組みの縮小や施設の老朽化が進んでも、現状の料金水準を維持してほしい	わからない
↓ア～カの実施内容ごとに○をつけてください。					
ア. 水質検査の強化など、水道水の安全性を確保していくための取組み	1	2	3	4	
イ. 浄水工程の改善など、おいしい水を供給するための取組み	1	2	3	4	
ウ. 地震に強い水道管の整備など災害対策の強化	1	2	3	4	
エ. 古くなった水道施設を計画的に改良・更新するなど、将来にわたって安定して水道を供給するための取組み	1	2	3	4	
オ. 水道料金の支払方法を広く選択できるなど、お客さまサービスの向上	1	2	3	4	
カ. 太陽光発電の導入など環境に配慮した施設整備	1	2	3	4	

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。
いただいた貴重なご意見は、今後の水道事業運営の参考にさせていただきます。



～安全な水 お客さまへ～

令和 4 年度 水道水に関するアンケート 調査結果報告書・概要版

～安全な水 お客さまへ～



令和 5 年 1 月

調査の目的

本市水道事業を取り巻く状況が大きく変化している中、水道事業に対するお客さまの評価や意見を的確に把握し、今後の水道事業運営の基礎資料とすることを目的として、本調査を実施した。

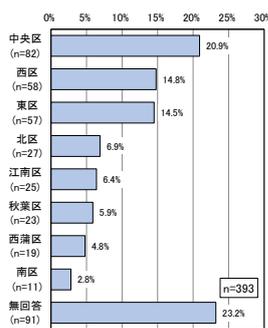
調査の設計

- ◆調査地域：新潟市の給水区域
- ◆調査対象：新潟市の上水道を利用している事業所
- ◆標本数：1,000
- ◆抽出方法：無作為抽出法（検針のためのお客さま情報から無作為に抽出）
- ◆調査方法：郵送法（郵送配布・郵送回収）
- ◆調査期間：令和 4 年 11 月 17 日（木）から 12 月 12 日（月）までの 26 日間
- ◆調査項目：①フェイスシート（お客さまの属性）
②水道水の節水状況に関する設問
③災害時における飲料水の確保に関する設問
④水道局の広報・PR に関する設問
⑤事業運営全般に関する設問

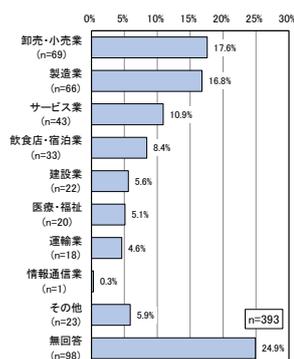
回収結果

- ◆発送数：1,000 件
- ◆有効回収数：393 件
- ◆有効回収率：39.3%

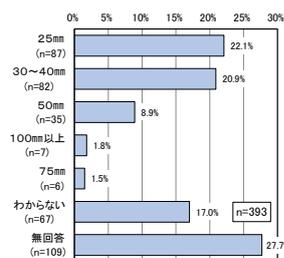
◆所在地



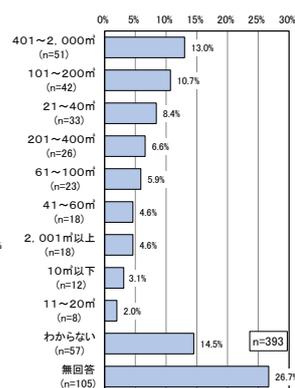
◆業種



◆水道メーター口径



◆水道使用水量

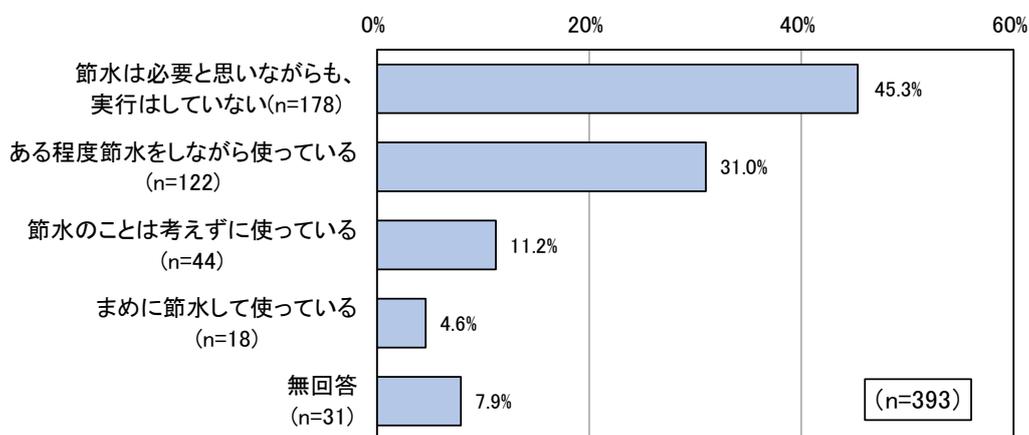


水道水の 節水状況

「節水は必要と思いつながら、
実行はしていない」

45.3%

問 あなたの事業所では、日ごろ節水を心がけていますか。



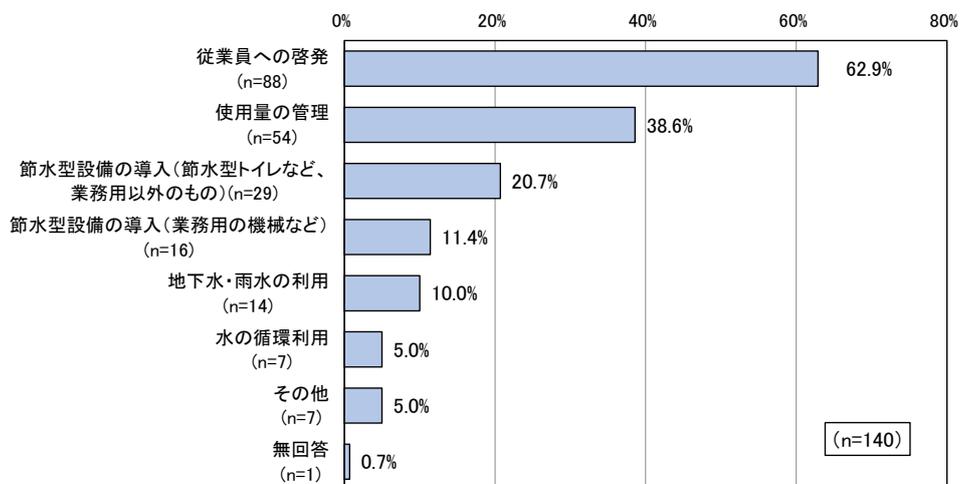
「まめに節水している」と「ある程度節水をしながら使っている」が合わせて35.6%と3割強になっている。

取り組み中の 節水対策

「従業員への啓発」

62.9%

問 次のうち現在取り組んでいる節水対策はありますか。また、その時期はいつごろですか。



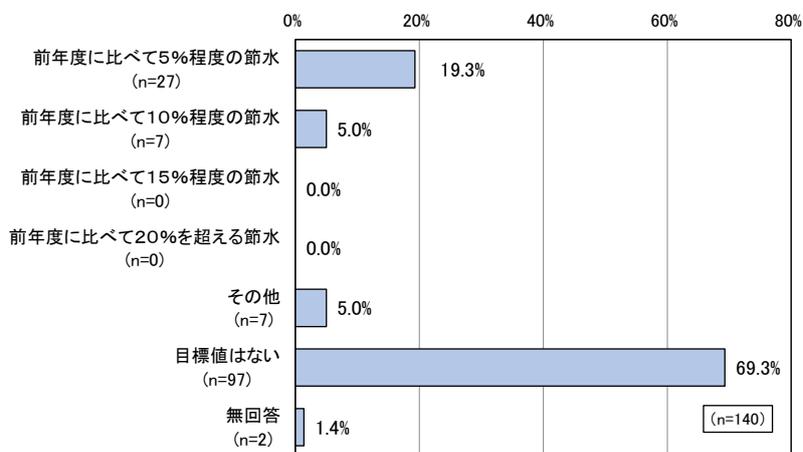
現在取り組んでいる節水対策は、「従業員への啓発」が62.9%と最も高く、「使用量の管理」が38.6%と続いている。

水道使用量の目標値

「目標値はない」

69.3%

問 節水するための水道使用量の目標値はありますか。



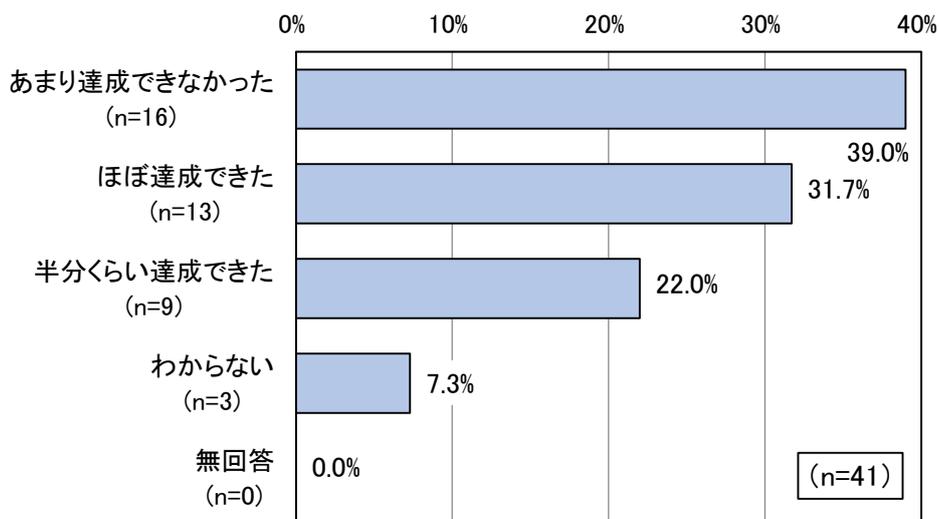
節水の目標値については、「目標値はない」69.3%が最も高くなっている。

節水目標の達成状況

「あまり達成できなかった」

39.0%

問 節水をしたことにより、節水目標はどのくらい達成できましたか。



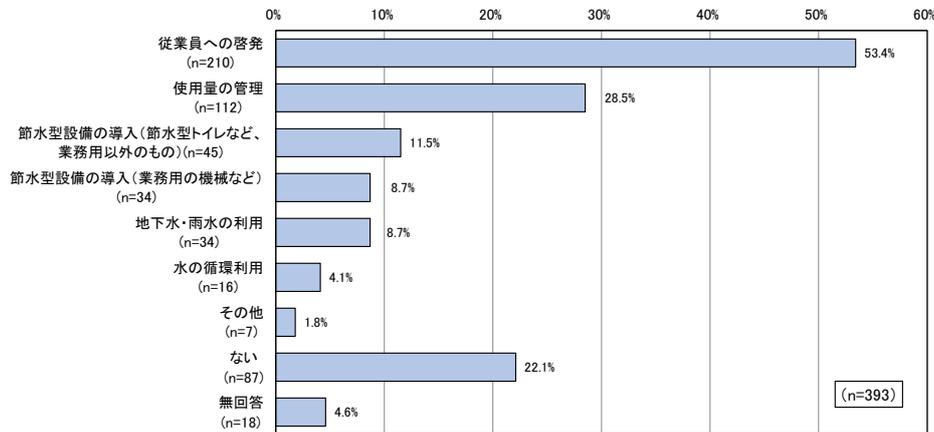
「あまり達成できなかった」が39.0%と最も高く、また、「ほぼ達成できた」と「半分くらい達成できた」事業所の合計が53.7%だった。

取り組みたい 節水対策

「従業員への啓発」

53.4%

問 次のうち、今後取り組みたいと思っている節水対策はありますか。



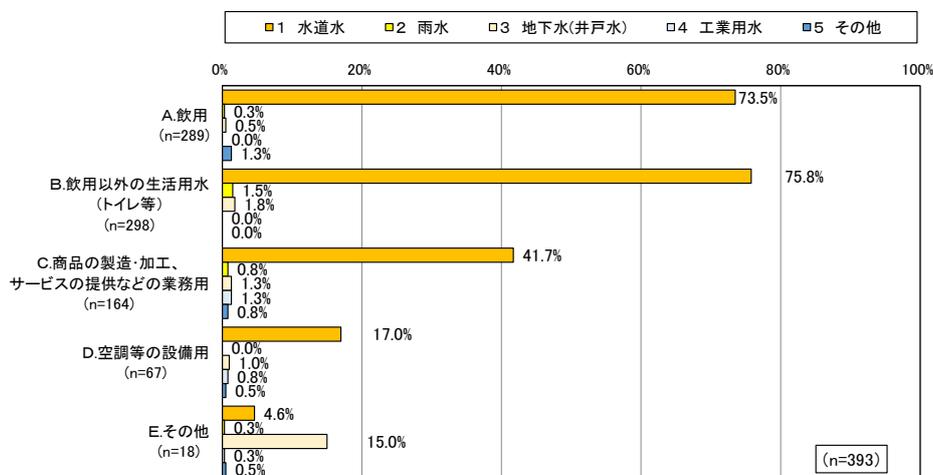
今後取り組みたい節水対策は、「従業員への啓発」が53.4%と最も多く、「使用量の管理」が28.5%と続いている。

利用水と その用途

全てにおいて「水道水」が基本となっている

問 水道水の他に利用している水はありますか。

また、水道水およびそれぞれの水は、どのような用途にお使いですか。



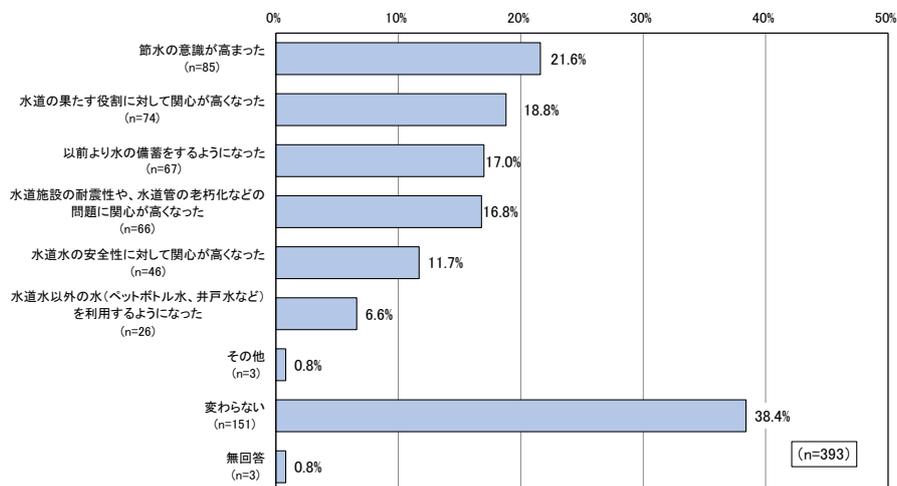
どの用途においても、水道水の利用率が高いが「その他」において地下水（井戸水）が15.0%と高い数値を示している。

水に対する 考え方の変化

「変わらない」

38.4%

問 近年の大震災や水害を経て、あなたの事業所では水に対する考え方は変化しましたか。



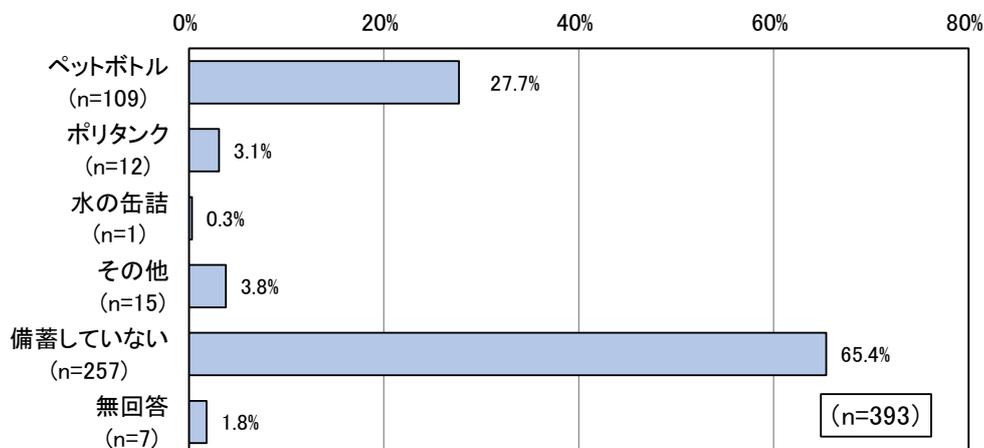
震災後の水に対する意識の変化については、「変わらない」が38.4%、「節水の意識が高まった」が21.6%と続いている。

飲料水の 備蓄

「ペットボトル」

27.7%

問 あなたの事業所では、どのくらいの量の飲料水を備蓄していますか。



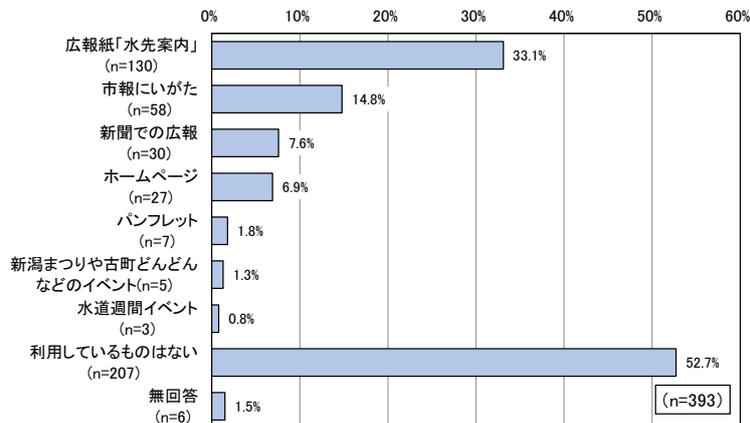
備蓄について、ペットボトルが27.7%と最も高い数値を示している。

**利用している
広報媒体**

『広報紙「水先案内」』

33.1%

問 水道局が行っている広報媒体の中で、あなたの事業所が利用しているものは次のうちどれですか。



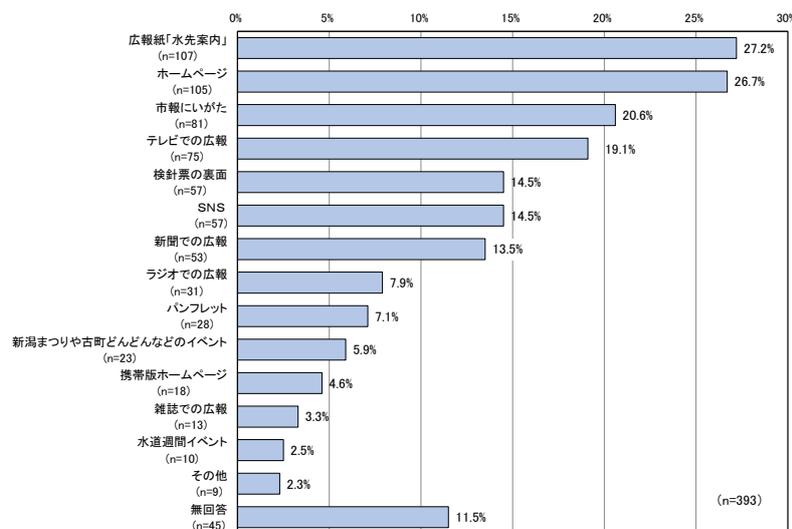
水道局が行っている広報の媒体の中で、事業所に最も利用されている広報媒体は、『広報紙「水先案内」』で33.1%を占めている。

**力を入れて
ほしい媒体**

『広報紙「水先案内」』

27.2%

問 水道局が広報活動を行っていく上で、今後力を入れてほしい媒体は次のうちどれですか。



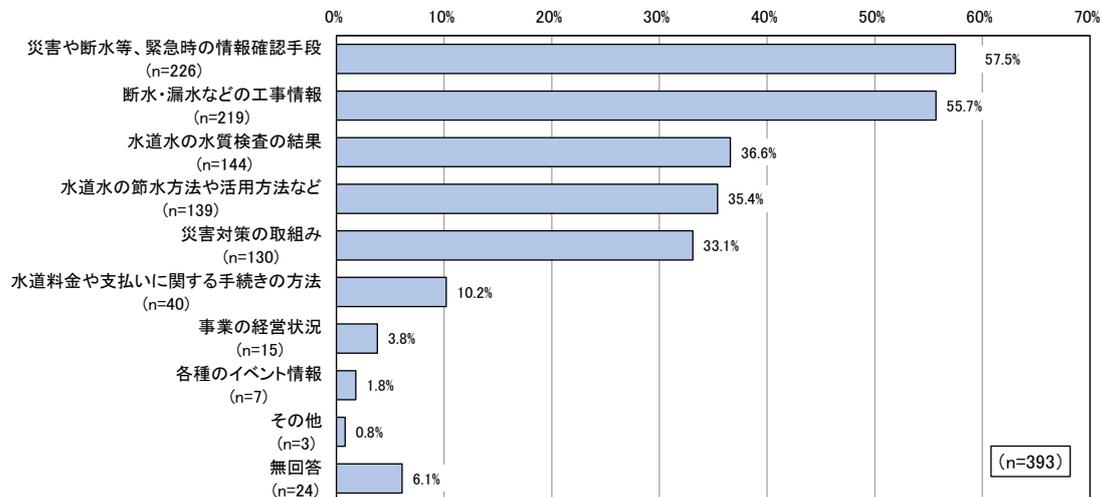
今後力を入れてほしい媒体としては、『広報紙「水先案内」』が最も多く、27.2%を占めている。

**必要な情報や
お知らせ**

「災害や断水等、緊急時の
情報確認手段」

57.5%

問 あなたの事業所が必要と考える水道局からの情報やお知らせは、次のうちどれですか。



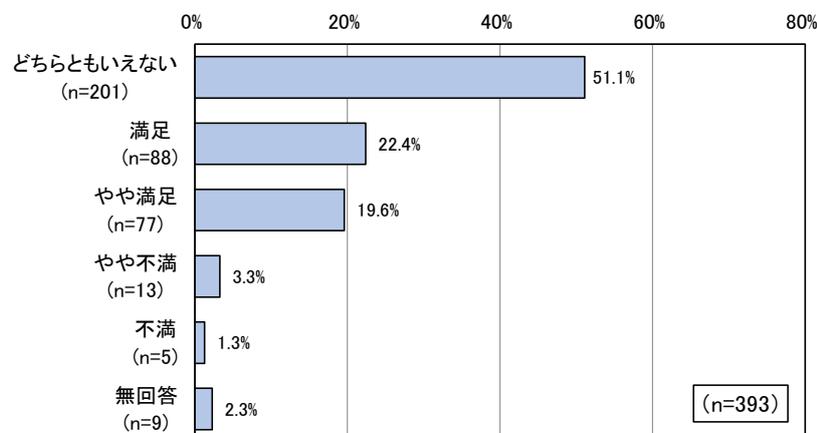
事業所が最も必要と考える情報やお知らせは、「災害や断水等、緊急時の情報確認手段」で57.5%を占めている。

**総合的な
満足度**

「どちらともいえない」

51.1%

問 新潟市の水道事業について、どのように思いますか。



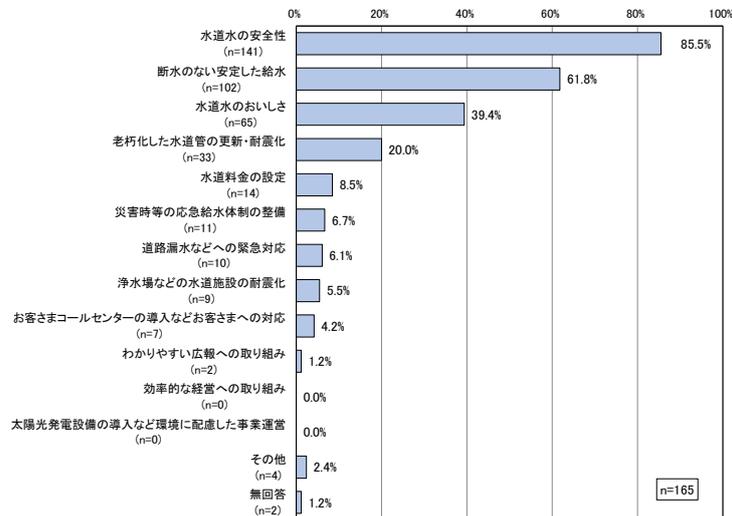
「どちらともいえない」が51.1%と最も高い。「満足」「やや満足」と答えた事業所の割合は、42.0%しかなかった。

満足
している点

「水道水の安全性」

85.5%

問 新潟市の水道事業について満足している点は、次のうちどれですか。



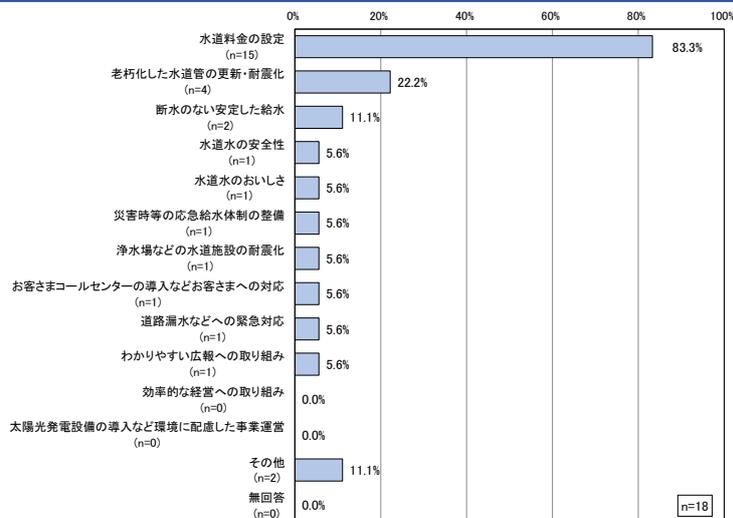
新潟市の水道事業について事業所が満足している点は、「水道水の安全性」が85.5%で圧倒的で、次に「断水のない安定した給水」が61.8%と続いている。

不満な点

「水道料金の設定」

83.3%

問 新潟市の水道事業について不満な点は、次のうちどれですか。



新潟市の水道事業について、不満な点は、「水道料金の設定」が83.3%と圧倒的に高く、次いで「老朽化した水道管の更新・耐震化」が22.2%と続いている。

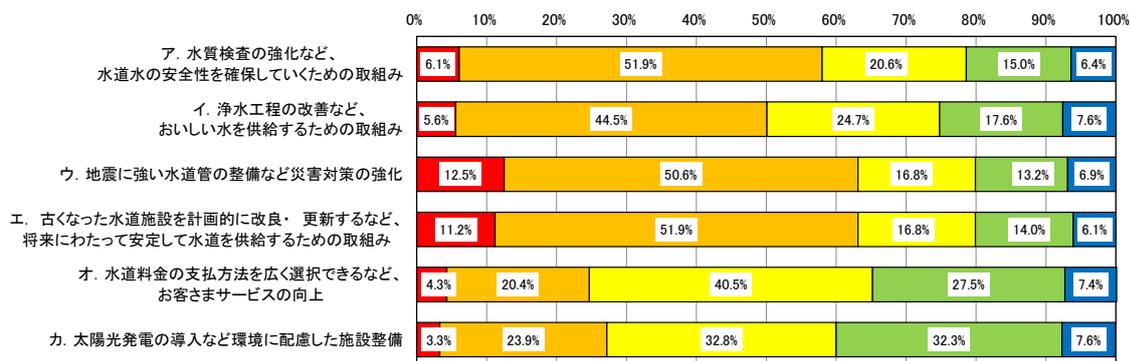
水道局の取組みと水道料金との関係

ア～エの取組み
「現状の料金水準で
推進してほしい」

44.5～
51.9%

問 水道局が行っている次のア～カの取組みについて、今後、水道料金との関係をどのよう
にすべきとお考えですか。

■水道料金が高くなっても積極的に推進してほしい
■現状の料金水準で推進してほしい
■水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい
■わからない
■無回答



ア～エの取組みに関しては「現状の料金水準で推進してほしい」が最も高く、オ～カの取組は「水道料金が高くなるのなら推進しないでほしい」が「現状の料金水準で推進してほしい」を上回っている。

令和5年1月寒波における水道局の対応について

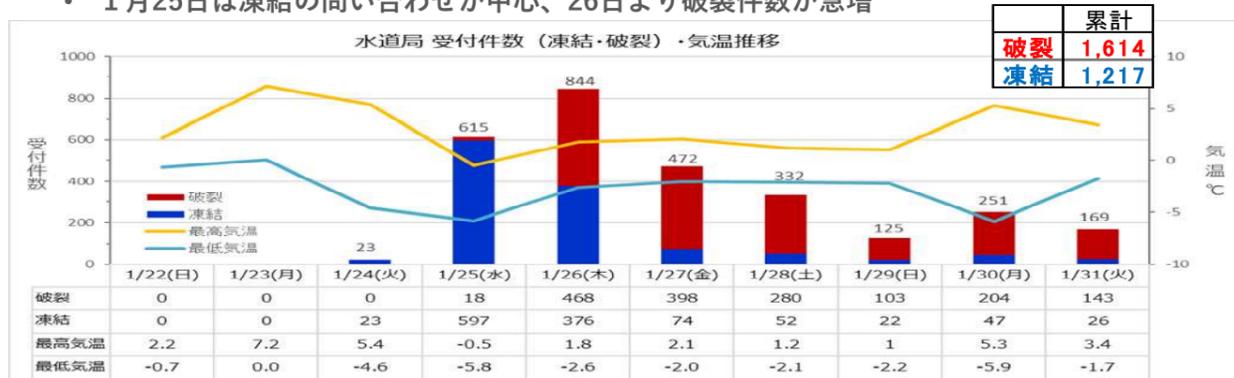
資料4

令和5年3月22日
新潟市水道局 経営管理課

1 問い合わせ受付状況（水道局寒波体制受付分）

▶ 凍結・破裂件数

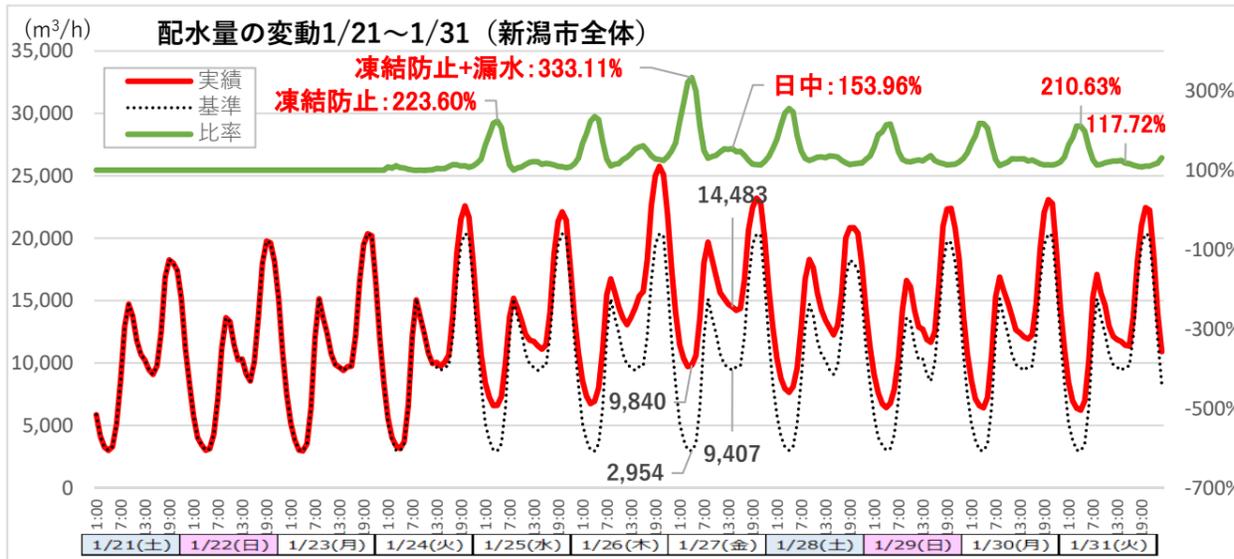
- 1月25日は凍結の問い合わせが中心、26日より破裂件数が急増



2 配水量（配水能力：396,500m³/日、寒波前1/23：262,690m³/日、最大日1/27：381,846m³/日）

▶ 寒波期間中の配水量変動状況

- 1月25日以降27日にかけて配水量が急増、28日から減少するがしばらく高止まりが続く



※ 基準水量：(月)～(金)は1/23(月)、(土)は1/21(土)、日は1/22(日)の水量を基準とした。

3 広報

▶ 寒波対策・節水の呼びかけ・断水予告等

- 【空家対策】** 使用契約が無い場合（中止中）、冬季前に止水栓を閉止
使用契約中（開栓中）長期間使用水量0m³世帯に冬期間の止水依頼文書を送付
- 【事前広報】** 水先案内（秋号・冬号）、市報（12/4・1/15）、ホームページ・SNS（随時掲載）
・水道管の凍結対策等を広報
- 【寒波襲来後】** 1/25～ ホームページ・SNS、報道棚入、記者会見
・節水の呼びかけ、計画断水情報等を広報

4 計画断水

▶ 1月27日(金) 計画断水実施を判断 実施予定日時 1/28 22:00 ～ 1/29 6:00

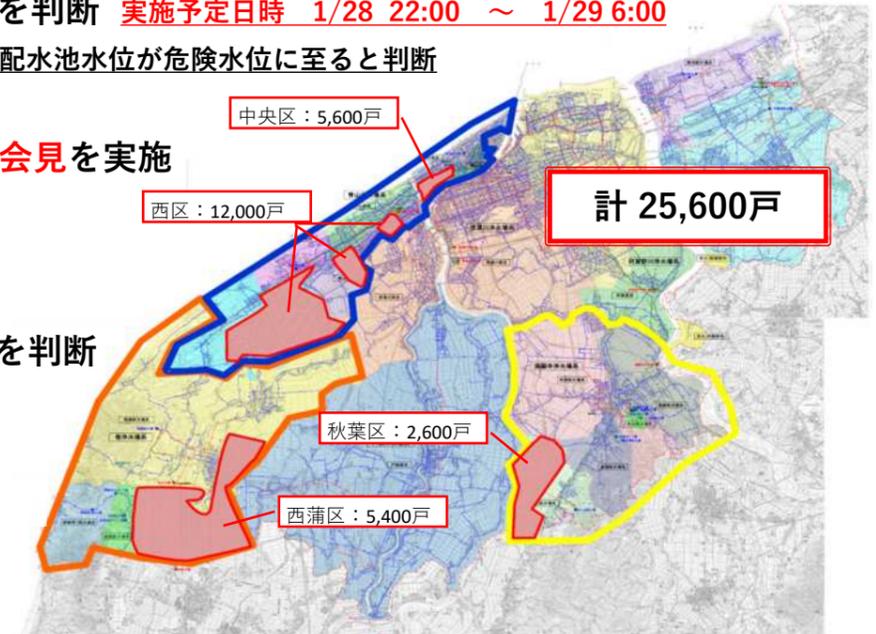
※これまでの経過から、2日後の配水池水位が危険水位に至ると判断

▶ 1月27日(金) 15:30～ 記者会見を実施

- 実施日時、対象エリアを説明

▶ 1月28日(土) 計画断水回避を判断

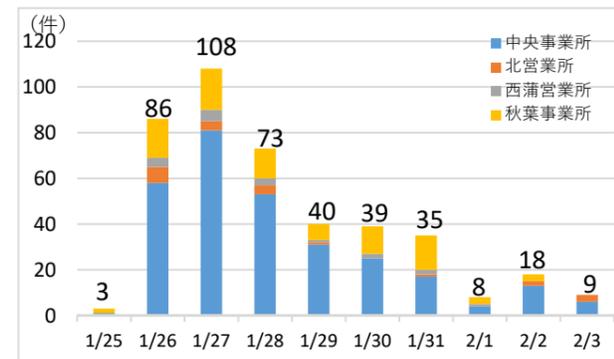
※27日昼以降、配水量が減少、配水池水位が運用可能範囲に収まると判断



5 止水作業

▶ 漏水通報に基づく止水作業

- 1/25～2/3までに419件を止水



▶ 空き家調査

- 対象6,142件を順次調査

調査区分	期間	調査件数	止水件数	止水率
危険水位にあるエリアを重点にした調査	1/27～2/3	4,037	138	3.4%
2月定例検針に合わせた調査	2/1～2/20	1,530	0	0.0%
3月定例検針区域の調査	2/13～2/15	575	11	1.9%
計	1/27～2/20	6,142	149	2.4%

※100L/分が4件

6 破裂対応状況調査（指定給水装置工事事業者調査）

▶ 市内業者317社を対象に調査を実施（回答率59.9%）

破裂箇所：屋外				破裂箇所：屋内				不明	合計
屋外配管	外水栓	給湯器	その他	壁内・床下	トイレ	蛇口	その他		
1,510	278	711	73	473	773	961	318		
2,572				2,525				16	5,113